

団地再生サミット共同宣言文の提出と市長面談

本広報でも2回にわたって掲載してきましたが、9月1日第3回目の会議で7団地が賛同する共同宣言文・要望書がまとまり10月に市長に提出しました。11月8日の小出市長訪問が決定し、参加団体を代表して古寺会長、石井副会長、田中事務局長をはじめ若宮、いはら緑園都市から4名、市議員代表伊佐、浜中両議員が市長との面談に臨みました。市役所側は、宮崎市民生活部長、牧野地域連携推進課長が同席されました。共同宣言文(要望) *について市長から対応をお聴きし、質疑応答が交わされました。市長からは「町会経営・まちづくりは共通の部分があれば固有の課題

もある。定期的に対話をしていこう」との提案がありました。団地側では今後の対応を注視するとともに、プラットフォームづくりを働きかけていきます。(事務局)

*紙面の都合により右のQRコードで共同宣言文(要望)をご覧ください。



▲共同宣言文



【分野3】地区防災計画

青葉台防災訓練(Bブロック)

～避難所開設に係わる防災設備と緊急用品の確認～
12月1日(日)10時から青葉台地区合同防災訓練(Bブロック)として、姉崎東中学校「避難所開設に係わる防災設備と緊急用品の確認」を行いました。



▲参加者の皆さん



▲生活用水設備確認
▲備品保管状況確認

参加者は主に総務班,施設管理班,食料物資班,保健衛生班に係わる方17名で、吉村教頭に場所案内をお願いし、長尾防災サポートチームリーダーから内容説明をいただき、以下を確認しました。

- ①B棟1F防災備蓄(食料品&パーティション等)倉庫
- ②A棟1F職員室の災害時特設公衆電話器
- ③格技館1F避難所運営事務用品、感染症予防対策キット等保管
- ④体育館裏の生活用水設備(井戸とポンプから体育館、格技棟1&2Fの各トイレに水を供給する)

質疑応答も多くあり、どのような防災備品があるか知る一助になりました。今後共多くの人に参加できればと思いました。(事務局分野3担当)

【分野4】Ohanaいっぱい活動

秋冬花苗の一斉植え付け

令和6年11月24日(日)朝9時より、1～4丁目の青葉中央通りにある街路樹花壇の秋冬花苗の一斉植え付けが行いました。苗の種類は、パンジー、クリサンセマム、キンセンカなどです。街路樹花壇は、1丁目シーエスアオバさん前から青葉中央通りに沿って4丁目堰頭公園入口まで丁度1kmの範囲に現在80基あります。



1丁目



2丁目



3丁目



4丁目

▲3丁目町会、Y整体院さん前の交差点では、温かい陽射しの下で作業を、楽しい語りとともに

既に市から支給された苗は先月植えていますので約50基が対象です。

今日の植え付け会に参加された方は、老若男女約60名です。それぞれ町会のOhana担当の方から植付手順の説明を受け植え付け作業に取り掛かりました。苗の方は、昨年もそうでしたが9月の残暑の影響で花びらの出が間に合わず残念でしたが、皆さんそれぞれ楽しくコミュニケーションをとりながら無事植え付けを終了しました。(事務局分野4担当)



▲青葉台HP

▶「広報あおば」に関するご意見・ご要望はメールにてお気軽にお寄せください: info@aoba39.com(事務局広報G)



冬フェス特集号 青葉台冬フェス2024開催! 12/14(土)15(日)

冬フェスは、第2回目となりますが今回の主な変化点は、14日(土)の青葉台小学校がコミュニティースクール活動(地域の人達との交流)として登校日に変更して参加、15日(日)には姉崎東中学校吹奏楽部の初参加及びキッチンカー会場の開設など、冬フェスは青葉台エリア全体を巻き込んだイベントとして定着してきました。

展示コーナー【12月14日(土)、15日(日)】

体育館の入口周辺の壁に「青小の子供たちの笑顔」や「はみ出る位の迫力の動物」の絵があり来場される皆さんを歓迎していました。体育館真中にはパネルで仕切られたエリアのパネルと机に沢山の力作がありました。それらの展示品の一部を紹介します。

幼稚園の子供たちの「色々な顔をしたサンタや雪だるま」は父兄でなくとも微笑んでしまいました。小学生・中学生の作品もそれぞれ作成した時の自由でワイワイガヤガヤの雰囲気が滲み出ていて更に進むような感覚のはじけを感じて、観る人が楽しい気分になります。

高校生になると、流石に大人びた感じの作品も目立ち、しっかりとした筆使いの作品が多かったと思います。

趣味の皆さんの展示物も「ちぎり絵」から「書道」、「写真」、「編み物」から「吊るしびな」迄多彩な力作が所狭しと並んでいました。「川柳」のコーナーでは、ニヤニヤしながら読んで居る人の姿を数多く見かけました。

展示作品コーナーの外周のパネルには、「青葉台町会協議会事務局によるまちづくりの歩み」や「6分野の活動」の紹介があり、皆さんが読まれている姿を「多少なりとも、ご理解を頂けると良いな!」と祈る気持ちで眺めていました。他にも「5年生のお米作り」や「青小フラワー会活動」の紹介、「秋のフェスタ」時の「エッチング作品」や「秋フェスタの振り返り」でアンケートの集約結果もあり、「アンケート」を取りっぱなしではない事も判っていただけたかな? と思います。

分野4の「Ohanaいっぱい活動」では、独自のブースを設けて青葉台に花いっぱいのジオラマのセットを置き「パンジー苗」を100名超の方に無料配布しました。

姉崎高校の「ANESAKIものづくりコース」の大きなジンベイザメや太陽光で動く風車の仕掛けも在りましたが、この風車は太陽光の当たる場所に展示して実際に動いている状態にしてあげられたら子供たちも喜ぶだろうな! と少し残念でした。

作品、紹介記事を作成された皆さんの努力と成果にお礼を申し上げつつ「展示品」の紹介とさせていただきます。



▲絵手紙の作品

▲書道の作品

▲姉崎東中学校生徒の作品



▲写真の作品



▲児童クラブのちぎり絵作品



▲幼稚園児の作品



▲川柳の作品



▲青葉台小学校児童のスクラッチ画作品



▲編み物の作品



▲青葉台小学校児童のスクラッチ画作品



▲青小フラワー会活動の壁新聞



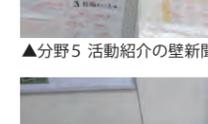
▲姉崎高校生徒の作品



▲分野5 活動紹介の壁新聞



▲青葉台町会事務局の壁新聞



▲分野5 活動紹介の壁新聞



▲青葉台町会事務局の壁新聞



▲青葉台が一望できるジオラマ



▲花苗無料配布



▲姉崎高校ものづくりコースの作品展示





青葉台内外からアーティストが大集結した、真冬の熱い2日間。

1日目【12月14日（土）】

青小生徒の皆さん集合の中、午前9時、古寺会長の挨拶で今年の冬フェスの幕を開けました。続いて、青葉台さわやかネットワーク創立30周年記念企画で小中学生対象に公募された懸賞作文の受賞者表彰式が行われました。「20年後の青葉台、わたしはこんなまちにしたい」をテーマに87件の応募があり、青小6年平嶋くんはじめ特別賞受賞者11名が表彰されました。次の「青葉台のあゆみ」では、小学生にも分かるように姉崎東中の森田さんら3名から古寺会長にインタビューする形式で行われました。「町会長は、学校で言えば級長」など会長から生徒に優しく説明、問いかけるやり取りはとても微笑ましい光景でした。

次からは、本来の演目プログラムです。午前中は、出演団体と青小のコラボが続きます。まず「野菊の会」のコーラスですが、3・4年生との合唱が特に印象に残りました。続いて「ハーモニカドリームチーム」の演奏ですが、ここでも5・6年生の鍵盤ハーモニカ、リコーダーとの合奏がとても新鮮でした。おじいさんやおばあさんと、孫以下の年代の子供たちが一生懸命協働で成し遂げようとする姿に将来の青葉台の在るべき姿を見た思いでした。ソーラン踊りでは1・2年生の子供たちが姉東中のお姉さん・お兄さんを見よう見まねで一生懸命身体を動かしている姿がとても可愛らしく映りました。「青葉台文庫」の読み聞かせの時間では、子供たちがオーバーヘッドプロジェクタースクリーンや大きな紙芝居を食い入るように見つめていたのが印象的です。子供たちとの一緒に活動も午前で終わり、午後の部は「ブルーエコー」の合唱で始まり、「ホンマ・ベイスティール・フラスタジオとホヌアロハ」による演奏とフラダンスが披露されました。メンバーの皆さんはこの寒い中、裸足で頑張ってくれていました。次は「青葉台緑会舞踊部」の皆さんによる踊りですが、ステージ前にボランティアの中高生及び飛び入り参加のおじいさん、おばあさん、子供さんが輪になって、炭坑節やバハマ・ママさながらミニ盆踊りの様に楽しんでいました。

この後は、皆さんお待ちかねのビンゴ大会です。総合司会の澤村さんが早々にビンゴと成りましたが、同位の子にじゃんけん負けで2位となり悔しがっていたのが印象的でした。数多くの人達がビンゴの懸賞品を順番に分け合い最後は、外れくじでお菓子が当たるとい幸運が待っていました。1日目はこれにて終了です。体育館の中が底冷えするのでは？と懸念して居ましたが、大型のファンヒーター2台と皆さんの熱気でそれ程寒さを感じない一日でした。小学生と町内会の皆さんが交流する「コミュニティスクール」の初めての試みは新鮮な感動を得ましたし、立場や年齢の違いを乗り越えて小学生・学校の先生・父兄・町内会の皆さんが協働されている姿が頼もしく感じられました。



▲ASN懸賞作文の受賞者表彰式 ▲青葉台のあゆみ



▲野菊の会 ▲3・4年生野菊の会とコラボ ▲ハーモニカドリーム



▲5・6年生ハーモニカドリームコラボ ▲リコーダーでコラボ ▲1・2年生ソーラン



▲青葉台文庫の読み聞かせ ▲ブルーエコー ホンマベイスティールとホヌアロハ▲



▲緑会盆踊り舞踊部 ▲ビンゴ大会 ▲ビンゴ大会の応援に駆け付けた可愛いサンタさん▶



▲市原山火太鼓 ▲姉崎東中吹奏楽部 ▲ゆいまーる



▲錦教場詩吟クラブ ▲スクエアダンス グループ ▲こころ舞踏団



▲絆楽(ばんらく) ▲歌唱中の小6樋渡くん ▲歌唱中の石大さん



▲賞の発表前に壇上集合の皆さん ▲最優秀歌唱賞の石大さん表彰



▲石大さん受賞の喜び ▲アイデア・熱演賞の山内さん ▲会場を盛り上げたて賞の古寺さん

2日目【12月15日（日）】

2日目は、朝9時「山火太鼓」の皆さんによる迫力ある演舞で始まり、聴衆を巻き込んだ踊りで盛りまりました！続いて、「姉崎東中学校吹奏部」による演奏です。クラシックやポピュラー等親しみ易い曲を聴けてとても楽しめました。今回初参加となりましたが、部員は7名ながら地元存在感を印象づけました。次は、おなじみ沖縄民舞・太鼓の「ゆいまーる」の皆さんです。子供たちが参加した踊り、神輿、笛&太鼓で、神聖で色鮮やかな衣装姿と会場全体を使ったパフォーマンスに魅了されました！

続いて、「錦教場詩吟クラブ」の皆さんによる吟詠です。厳かで力強く情感豊かな心に沁み渡る響きでした！地元団体最後の出演は「スクエアダンス」のグループで、男性と女性4名ずつの息が合ったスムーズな動きで会場を楽しませました！

次は、おなじみ「こころ舞踏団」のベリーダンスで、色鮮やかで装飾豊かな衣装やスカーフ、ベールを纏い、リズムカルに全身を使ったなめらかな動きが優雅で魅了されました。

続いて、外部初参加の「絆楽(ばんらく)」の太鼓と踊りです。全員の一体感伝わる迫力ある力強い演奏の中、横笛の音色が調和し心に響きました。

最後は各町会カラオケ愛好家の皆さんが、自慢ののどを競うカラオケ大会です。昨年を上回る21組が参加しました。皆さんの魂を込めた歌声が素晴らしく大盛況でした。なお、審査結果、各賞は以下の通りとなりました。()内は曲目

- ◆最優秀歌唱賞：2丁目 石大さん(哀愁港)
- ◆アイデア・熱演賞：6丁目 山内さん(愛のカタチ)
- ◆会場を盛り上げたて賞：3丁目 古寺さん(手紙)
- ◆特別賞：4丁目 樋渡くん(見上げてごらん夜の星を)

「カラオケ大会」は次回も開催する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

閉会に当たって

2日間に亘って行われました冬フェスの全てのプログラム及びイベントが無事終了しました。

来場の皆様から回収した113通のアンケートでは、最後の設問の回答記入者83人の内来てハッピーと感じた人は81人

感じなかった人は2人ということから一定の満足感が得られたものと評価しています。

最後に、運営・進行に参加ご協力いただきました各町会及び姉崎高校、姉崎東中生徒の皆さんに感謝申し上げます。

(青葉台町会協議会)

校庭エリア

14日（土）：子供房総かるたとり

午前中は子供房総かるた取りが行われました。房総にちなんだ句が読まれると、二人ペアの子供たちが、かるたの置いてある場所に走って行きます。空は晴れていましたが、冷たい風の中、ご父兄の方々も熱心に観戦され声援を送られていました。14日（土）の午後は「森のくまさんコーナー」で子供たちがゲームや実験で楽しみました。



▲上空から見たかるた取りの風景

15日（日）：キッチンカーコーナー

今回はキッチンカーなど、食のお店11店が集結しました。さらに、販売ブースは3店舗。「高滝星野農園」からはお米の販売もありました。穏やかな天気恵まれ、来場者の皆さんは外でも楽しめました。キッチンカーオーナーの方々からは、売り上げの下がる冬の時期に出店機会が得られたこととお礼の言葉をいただきました。



▲キッチンカーコーナーも大盛況



▲お米を販売中の高滝星野農園さん

